

-----5月14日-----

## ※ 今週のアウトルック(5/14~5/18)

先週は月曜日こそ、買い戻しから一旦は円安にふれましたが、全般的には円高圧力と買い戻しの綱引きとなり、大きな動きはなく週末を迎えました。

今週もEUソブリン債問題と米国景気先行き懸念の足かせの中、全般的には緩やかなリスクオフ的な流れが強いのではないかと思います。

ドル円はこのところ、80円を挟んで行ったり来たりの状況が続いています。今週も今後の動向を決定づけるような要因が少ないことから、全般的にはまだこの状況がしばらく続くのではないかと考えています。ただ、ギリシャの政局の状況次第では、大きく動意づく可能性もあるため、注意が必要です。

ドル円の予想レンジは79円から81円です。

ユーロはギリシャ政局如何では、ギリシャのユーロ離脱危機が現実味を増しています。ギリシャがユーロを離脱した場合、ユーロが買われるという見方と、売られるという見方の両方が存在するようです。どちらにしても離脱した場合は、乱高下がしばらく続く可能性が高いかもしれません。

また、ユーロドルが1.3を割ったことから一度1.27あたりまで売り込まれる可能性も否定できません。一度動き出すとユーロ売りが一気に進む状況も、想定しておく必要があるかもしれません。

ユーロ円の予想レンジは100円から105円です。

ポンド円は外部環境から、動きづらい状況が続いています。ユーロ圏をとりまく状況が大きく変わらない限りは、しばらくこの状況が続くのではないかと考えています。

ポンド円の予想レンジは127円から130円です。

今週は動きづらい状況の中、やはりギリシャの政局を注視したいところです。大きな変化があった場合、どう動くかも予想しづらいため、しばらく様子を見た方が良いでしょうに思います。

### \* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。